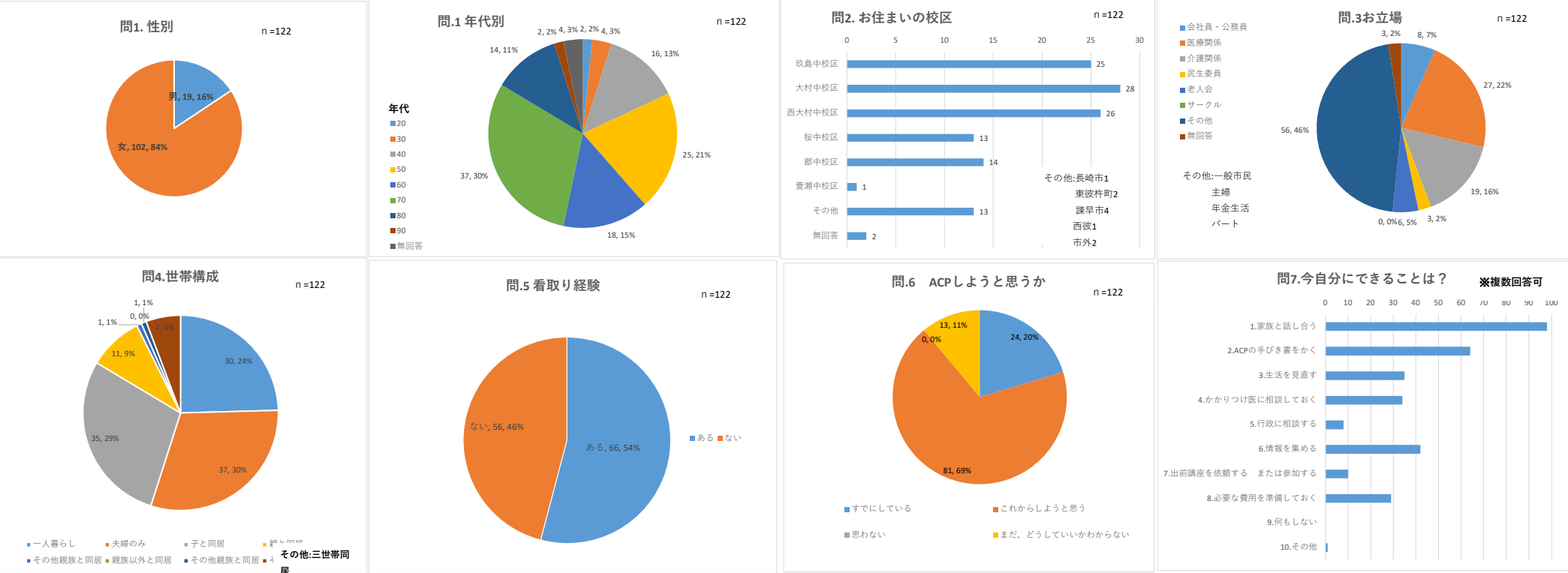


<<R7.9.6(土) 市民公開講座アンケート結果>>

来場者数144 名
 アンケート回収122 名
 回収率85%
 平均年齢63.57 歳



アンケート 自由記載結果

職種	カテゴリー	内容
介護関係	ACPの重要性の再認識：	「母らしく人生を終えられた」「自分も元気なうちに意思を伝えたい」「娘に知らせたい」
	市民への広がりを実感：	「初参加者も勉強になった」
	現場の課題：	「家族より施設の違いが分からず入所相談がある」「往診対応の病院情報が欲しい」
	マイナカード活用への期待：	「救急対応に役立つ」
	出前講座の質問：	「何名参加できるか」
医療関係	ACP・DNARの理解と実践：	「仕事上看取りに関わるため勉強になった」「在宅医や訪問看護の話をもっと聞きたい」「大切さを再認識」
	マイナアプリへの提案：	「ACP入力ができれば病院は助かる」
	市民の希望に寄り添いたい：	「本人の希望に沿った支援をしたい」
	在宅看取りについて：	「間に合わない時など、かかりつけの対応」
	自助・互助・共助の必要性：	「活用していきたい」
老人会・民生委員	終活への前向きな取り組み：	「少しずつ記録している」「娘と話しているが具体的にはまだ」
	在宅医療推進への意欲：	「母を看取った経験から在宅医療をすすめたい」
	ACPの制度的課題への指摘：	「自宅で亡くなると警察介入が心配」「事件化されることが困る」
その他	家族との対話：	「主人とはまだ話せていないが少しずつ会話に入れたい」「家族がACPの話を嫌がる」
	医療・看取りの不安：	「主治医に連絡が取れない時・夜間はどうすれば？」「通院が難しくなった時の在宅医療について」「かかりつけ医が看取りをされない時のかかりつけ医探し」
	個人の内省と孤独感：	「人に迷惑をかけないように静かに考える日々」「不安は残るが参加してよかった」
	地域課題への言及：	「家族の空き家の管理が大変」「死亡保険の税金について検討してほしい」
	ACPの理解と家族との共有：	「知らなかったことが多く参加して良かった」「若いうちから必要性を理解」
	マイナ救急への関心：	「受診状況や処方薬も分かるのか？」
共通	学び・きっかけ：	「今までの講座に比べてわかりやすかった」「（話し合う）チャンスをいただいてありがとうございます」「貴重な・有意義な時間」「多職種事業所の話が聞けて良かった」「深く考えるきっかけ」「救急に話はなかなか聞くことが無いので良かった」「救急の現状を知り驚いた」「参加型で皆さんの考えも参考になった」「多職種聞けて良かった」
	今後の要望：	「訪看在宅医の話をたくさん聞きたい」「座談会の枠を長くしてほしい」「救急隊員の話をもっと聞きたい」「時間不足を感じた」
	在宅で過ごすことへの不安：	「家族に迷惑をかけるだろうな」
	多職種連携：	「ACPのフォーマットへの記載があることで連携が円滑になることが分かった」「普段聞けない立場の話が聞けた」
	ACPの市民啓発	